歌俳百人選に載る大岡忠相像（『図説 江戸町奉行事典』柏書房に収載）を加工

特別展

大岡越前守忠相と豊川

天下の名奉行として
その名をうたわれた
大岡越前は、豊川の
お殿様だった

平成30年12月8日土～
平成31年1月27日日

※12月と1月とで展示資料の一部を入れ替えます

観覧時間●午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）
※12月8日（土）は開会式のため、観覧は午前11時から

休館日●月曜日（ただし、12月24日、1月14日は開館）
年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料●一般500円／小中高大生300円
各種障害者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料。ほの国こどもパスポートをお持ちの小中学生は無料。
チラシの割引券をお持ちの方は100円引。ホームページ割引の画面をご提示の方は100円引。

主催●豊川市桜ケ丘ミュージアム
中日新聞社

協力●株式会社C・A・L

大岡忠相遺愛の双六盤
豊川稲荷（豊川閣妙厳寺）所蔵

大岡領の村（赤色の楕円枠）
西大平藩支配所三河国之内二拾四ヶ村絵図面（愛知県図書館所蔵）を加工

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM
豊川市桜ケ丘ミュージアム
〒442-0064 愛知県豊川市桜ケ丘町79-2 TEL（0533）85-3775

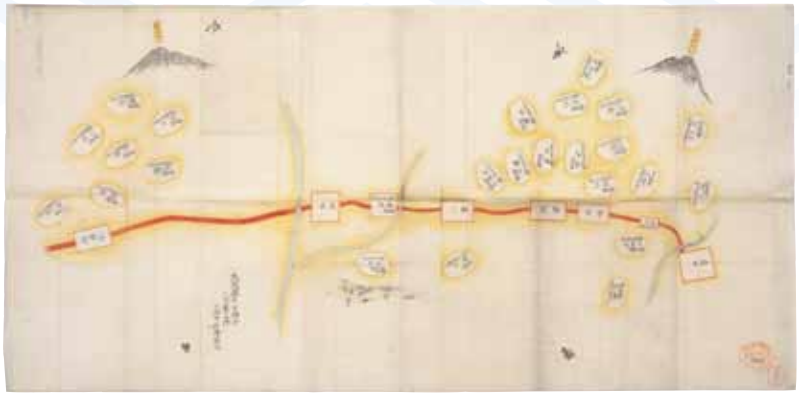
特別展

大岡越前守忠相と豊川

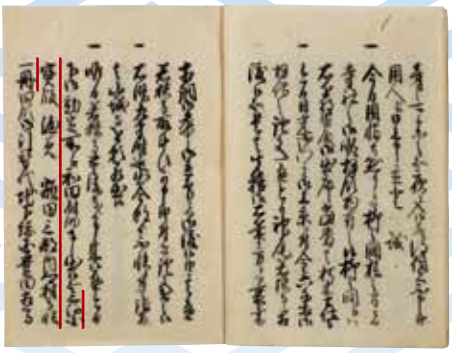
江戸の名奉行といえば、大岡越前守忠相の名がまずあがるでしょう。テレビ時代劇「大岡越前」は 30 年の長きにわたって放映されましたが、現実の大岡越前の江戸町奉行在任期間も約 20 年と異例の長さでした。その功績により忠相は、寺社奉行・奏者番へと栄進を重ね、三河国に新たな領地（宝飯郡6か村・渥美郡2か村・額田郡3か村）を得て、大名の列に名を連ねました。宝飯郡の村はいずれも現豊川市域でした。

また、忠相は豊川稲荷を篤く信仰していました。稲荷信仰が忠相の活動のバックボーンだったことは想像に難くありません。

本展にお越しいただき、忠相から始まる譜代大名大岡家が豊川と深く関わっていたことに思いを巡らせて下されば幸いです。



江戸時代後期の三河国内における大岡家の所領を示す絵図［愛知県図書館所蔵］



大岡忠相の日記
三河国の宝飯・渥美・額田3郡内で領地の加増を受け、大名となったことなどを記す。［大岡家所蔵、国文学研究資料館に寄託］

諸国の大名が豊川稲荷（妙厳寺）を参詣した際の記録
「大岡越前守様御登山」、「当寺は大岡領のことゆえ」など、大岡家に関する記述も多い。［豊川稲荷（豊川閣妙厳寺）所蔵］

大岡家が三河の所領支配のために設置した陣屋の軒丸瓦
［安藤平久氏所蔵、岡崎市に寄託］

ミュージアム落語会

12月15日（土） 11:00 ～

桂 宮治さん登場！

出演●桂 宮治さん
場所●豊川市桜ヶ丘ミュージアム
2階 第4展示室
定員●60 名
予約不要（当日先着順）
※当日の本展観覧券が必要です

笑点 特大号などでおなじみの人気落語家 桂宮治さん登場! 大岡越前の名奉行ぶりは落語の中でも語られますが、さて、今回はどんな話が聞けますやら。

特別講演会

1 月12日（土） 14:00 ～15:30

大岡越前の虚像と実像

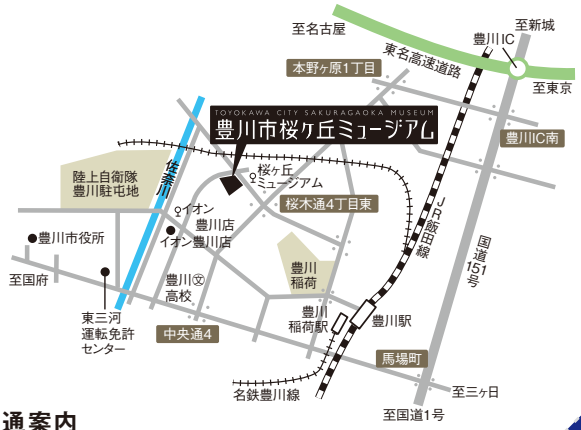
講師●大石 学先生
東京学芸大学教授
場所●豊川市文化会館 大会議室
（豊川市代田町1丁目 20-4）
※本展会場とは異なりますのでご注意ください
定員●100 名
予約不要（当日先着順）
無料

NHK 大河ドラマ「新選組!」・「篤姫」・「龍馬伝」・「八重の桜」・「花燃ゆ」・「西郷どん」などで時代考証を務める大石学先生を講師にお迎えして、大岡忠相の人物像についてお話しいただきます。

ギャラリートーク

学芸員による展示解説① 平成30年12月16日（日）
学芸員による展示解説② 平成31年 1 月14日（月・祝）

- いずれも午後2時から
- 予約不要
- 当日の本展観覧券が必要です



交通案内
電車◎JR飯田線「豊川」駅・名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
車 ◎東名高速道路「豊川I.C.」から約10分（無料駐車場約100台／公園と共有）
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関利用や乗合せにご協力ください。

一般 500 円→400 円
小中高大生 300 円→200 円
入場割引券
1枚につき2名様まで